

turns. 和歌山県 和歌山市

# 和歌山の「つぎつぎ、継業」EVENT@東京

地域らしい仕事、継いでみませんか？

民宿を継業しちゃった人



百合 光平さん (田辺市)



中本 有香さん (和歌山市)

Uターンで銭湯を継いじった人

2020. 1/17 Fri.  
18:30~20:30 (18:00開場)

## 【会場】ふるさと回帰支援センター セミナールーム

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館4F  
JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」より徒歩1分、  
地下鉄有楽町線「有楽町駅」および「銀座一丁目駅」より徒歩1分

【定員】30名(先着順)

【参加費】無料

【主催】和歌山県

【共催】認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

## 「継ぐ」とは、思いを繋ぐこと。

「継業」とは身内ではない第三者が事業を受け継ぐことを指した言葉です。全国で後継者不足が叫ばれる昨今、和歌山県でも、後継者を求める事業主と移住希望者をマッチングする「移住者継業支援プロジェクト」が立ち上がっています。

もしあなたが、移住先の仕事の候補として継業を考えていたり、Uターン移住をして家業を継ぐべきか迷っているなら、両方の実践者から話を聞いてみませんか？さまざまなポテンシャルを秘めているからこそ面白い。「継ぐ」が、今アツインです。

当日はゲストだけでなく、わかやま定住サポートセンター(東京窓口)や田辺市と和歌山県の移住相談担当者が加わり全員で交流会も行います。「継ぐ」という仕事選びに関心がある方から、和歌山県への移住を具体的に検討している方まで、どなたもお気軽にご参加ください。



guest #01 百合 光平さん  
《民宿すみ家》

西牟婁郡白浜町出身。以前は他県で建築業をしていたが、「家族と共に自然豊かな環境で暮らしたい」という思いで、和歌山県へ移住を決意。ゲストハウスをしようと田舎の物件を探すなかで「移住者継業支援プロジェクト」を知り、田辺市本宮町にある温泉付きの物件とオーナー家族の人柄に惹かれ、2019年4月に、和歌山県の事業承継マッチング成立の第1号として3代続いた民宿を再オープンする。夫婦共に未経験だったが、継業にあたり、前女将から料理・掃除・接客などホスピタリティの真髓を積極的に教わり、宿泊者を迎える気持ちごと大切に受け継いでいる。



guest #02 中本 有香さん  
《銭湯 幸福湯》

和歌山県にある銭湯「幸福湯」の4代目番頭。1956年に曾祖父が創業、長きにわたり近隣住民や銭湯ファンに愛され続けてきた家族経営の「幸福湯」。中本さん自身は当初継ぐ気はなく、保育関係企業に就職したが希望と方針にギャップを感じて退職し、帰郷。そんな折り、諸々の事情により「幸福湯」の廃業を視野に入れていると父から聞かされ、自身にとって家業が如何に大切に気付き、継ぐことを決意する。2019年4月に中本さんが継ぐタイミングで、思い出の番台を残しつつ全面的にリニューアル。手書きのメッセージボードを玄関口に毎日設置し、SNSを活用した情報発信も意欲的に行っている。

【お問い合わせ】

株式会社第一プログレス 和歌山県移住PR事業係

tel 03-6269-9732 mail event@turns.co.jp

【お申し込み・詳細】

こちらのQRコード、または下記URLの応募フォームからお申し込みください。

<https://turns.jp/34557>

